

つながり

職種別特集(第1弾) 【歯科医師】

秋田市歯科医師会の千葉会長から、業務内容や相談ポイントなどを伺いました



千葉 利昭氏

旭北歯科医院 院長／秋田市歯科医師会 会長
趣味：アウトドア
座右の銘：実るほど頭を垂れる稻穂かな

「歯科医師へのつなぎは、痛みが出た時だけじゃない」 ～多職種の気づきが全身の改善につながる

今回のインタビューー

長澤 利一氏

やすらぎホームけやき 施設長補佐／
秋田県中央地区介護支援専門員協会 理事
趣味：バスケットボール
座右の銘：初心忘るべからず



「専門家の見立てが大切！」と理解していても、なかなか相談できない…。

何をお願いできる？どんな症状に気をつけるべき？

ケアマネジャーの長澤利一氏が、千葉利昭氏から歯科医師の業務内容や相談ポイントを伺いました！

自宅や施設でも治療を受けられる

長澤氏 まず始めに、歯医者さんの業務内容について教えてもらえますか。

千葉氏 一般的には、虫歯の治療、入れ歯の治療、歯茎の腫れなど歯周病の治療、抜歯を伴う外科の治療、インプラント治療、矯正治療を指します。

長澤氏 先生は院内での治療の他に、訪問診療もされています。自宅や施設だと、治療の範囲に違いはありますか？

千葉氏 院内でできる事は、訪問診療でも大体できると思って下さい。CT検査など特殊な事は難しいですが、専用の機材があれば、虫歯、入れ歯、抜歯、歯周病治療など、自宅や施設でもできますよ。レントゲンを撮る事もありますし。

長澤氏 費用に違いはありますか？

千葉氏 もちろん違います。保険点数の中に訪問診療の項目があり、それに合わせて費用が計算されます。そして場合によっては“在宅療養支援歯科診療所加算”など、施設基準に伴った加算が発生します。利用する方の負担割合によても異なりますので、細かい話は、秋田市歯科医師会でも当院でもいいのをお問い合わせ下さい。

長澤氏 訪問診療はどのようにお願いすればいいのでしょうか。

千葉氏 訪問診療を希望する場合、まずは今までかかっていた歯科医師に相談してみて下さい。もしその先生が訪問

診療を行なっていかなければ、秋田市歯科医師会にご連絡いただくことで、対応できる先生を紹介しています。歯科医師会のホームページに流れを載せていますので、是非一度見て下さい。

長澤氏 分かりました。けれども、訪問診療に積極的な先生とそうじゃない先生がいらっしゃると思います。相談を躊躇する事もありますが…。

千葉氏 昔に比べて相談しやすくなったでしょう？歯科医師会としても先生たちに対応をお願いしていますし、実際に訪問診療を行う先生も利用する人も増えています。多職種から患者さんや家族に「痛みを我慢しなくていいよ」「歯医者さんが訪問してくれるよ」と働きかけてもらったことで繋がるケースが多くなりましたね。

専門家の見立ては大切！ ～摂食嚥下の機能が全身に影響する

長澤氏 訪問に積極的な先生が増えているという事ですね。話は変わりますが、先生は入院患者さんの退院前カンファレンスに出席されることはありますか？

千葉氏 今までに何回か呼ばれ、摂食嚥下に課題がある患者さんのカンファレンスに出ましたよ。入院患者さん以外でも、かかりつけの内科の先生から「嚥下の評価をして欲しい」と声をかけられ、関わり始める事もあります。それだけ専門の見立てが大切ですから。

長澤氏 私たちケアマネは、専門家の見立ての大切さを理解しているつもりでも、身近なメンバーで対応しようとする傾向があります。飲み込みにくくなってきたなら食事形態を考え直してみようか、食べる時の姿勢を変えてみようか、と。専門家に繋ぐ前に自己判断で対応してはいけないですね。

千葉氏 もちろん皆さんの考える食事形態の見直しなど、とても大切。しかしそれだけではもったいない。例えば脳梗塞の方だと、急性期に身体の機能が落ちる、その後安定、回復という流れになりますが、回復期に行う嚥下の検査で“向上見込みあり”と判断されたのに、そのまま食べられなくなってしまった、という話をよく聞きます。



これが訪問診療に使う機材一式です

千葉先生から、訪問診療に使う機材を見せていただきました。

左手前のボックス2つに細かい器具や薬剤がぎっしり入っています。中央奥が歯を削る時に使う機材、右奥がレントゲンです。

長澤氏 それは検査のタイミングに問題があるのでしょうか？

千葉氏 いやいや、その後専門家の介入がない事で、リハビリ継続に繋がらないのが原因でしょうね。まだまだ伸びしろがあるので。口から物を食べると栄養を摂る以外に、口の周りや首、胸の辺りの筋力を保つ動きにも繋がっています。食べなくなるとその周辺の筋肉が衰え、内臓を支える力が低下して内臓が下がってくる、そして虚弱の体質になる。逆に、一旦寝たきりの状態だった方が、摂食嚥下のリハビリをして口から食べられるようになり、車いすに座れるまでに回復した、というケースもあります。

長澤氏 摂食嚥下のリハビリでここまで変わる可能性がある、という事ですね。ちなみにその方は、何がきっかけでリハビリに繋がったのでしょうか？

千葉氏 当時からその方はうがいができるたらしく、担当していた看護師が「うがいができるなら食べられるのでは」と気がつき、私に声をかけてくれたのが始まりです。普段関わっているからこそこの気づき、素晴らしいと思います。



=取材を受けた感想を一言=

左：千葉氏「いやあ、結構緊張しましたね～」

右：長澤氏「緊張しましたが、楽しい時間でした！」

気づき、繋げるためのポイントは？

長澤氏 誰かが気づくようにするために、見るべきポイントはありますか？

千葉氏 一つは、ベロを見せてもらう事！舌の汚れに付着している菌が体に入る場合もありますし、職員の方には、時々でいいので口の中を見る意識を持つもらいたいですね。色々な発見があるはずです。舌が汚れている、入れ歯を使っていないなど、小さな事でも気になる事ががあれば是非声をかけて下さい。

長澤氏 それぐらいの事で訪問診療を頼んでもいいのでしょうか？

千葉氏 大丈夫！気になる事があれば気軽に相談して下さい。口から食べる生活を続けるためには、初期で治していく方が絶対にいい！歯科医師への繋ぎは、痛みが出た時だけじゃないですから。

長澤氏 ケアマネに限らず、関わっている専門職みんなが意識していきたいですね。それでは最後になりますが、多

職種に対し、連携について求めることや伝えたいことはありますか？

千葉氏 人はみんな違いますよね。一人一人違うし、同じ人でも日や時間によって変わる。それを一職種だけで見ていく事は不可能で、多職種が力を合わせなければ対応できない。そのためには、医師や歯科医師、薬剤師、看護師、ヘルパー、関わっている人たちみんなが他の人たちを巻き込んでいけるといいですよね。そして顔が見えていればさらに相談しやすい。私もこれから困った時には「長澤さん、相談させて！」とすぐに声をかけさせてもらうつもりです。どの職種でもお互いにそういうていきたいですね。

長澤氏 今のように先生から声をかけてもらえると、ケアマネとしてはやはり嬉しいです。医師から連絡が来ると多少構えてしまいますが（笑）、その壁もなくなっていくと思います。今日はお忙しい中ありがとうございました。

千葉氏 ありがとうございました。

よくある質問へ、千葉先生からアドバイス

Q.『認知症の方への治療やケア、どうすればいいですか？』

A. 初期の方に対しては、洗面所の場所が分かるように張り紙をする、気が散らないように鏡を隠す、余計な物を置かない、など環境を整えてあげる事が大切です。重度の方の場合、口に手を入れる時は特に慎重に進めて下さい。人には、口の中に刺激を感じると噛むという一連の行為がありますからね。顎や口の周りを触ってから徐々に口の中を触るようにするなど、私達も工夫しています。

認知症の症状が進んでも、評価を小まめにしながら諦めず、工夫していく事で、肺炎の予防にもなるし食事をながく楽しむ事にも繋げてあげられますよ！



訪問歯科診療の流れは **秋田市歯科医師会ホームページ** (URL <http://www.akitacity-da.or.jp/>) をご参考下さい

連携センターのホームページをリニューアルしました



当センターのホームページで、秋田市内の医療・介護施設の詳細情報が検索できるようになりました。お住まいの地域からも検索しやすいよう、医療・介護の両施設を一ヵ所のマップに反映させております。医療・介護施設を探す際は、是非ご活用下さい。お忙しい中、資源調査にご協力いただきました皆様に、感謝申し上げます。

今後は施設の詳細情報を定期的に更新していくほか、各関係団体で行う研修の情報や、当センターの活動報告などを掲載してまいります。皆様からの情報が内容の充実に繋がりますので、引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

秋田市在宅医療・介護連携センターホームページURL
<http://www.acma.or.jp/renkei>



秋田市在宅医療・介護連携センター

〈受付時間〉月～金(祝祭日を除く)午前9時～午後5時

〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8番5号(秋田市医師会館内)

TEL : 018-827-3636 FAX : 018-827-3614

E-mail renkei-center@acma.or.jp

URL <http://www.acma.or.jp/renkei/>



編集後記

ケアマネジャーが専門職にインタビューする様子を取材する、という初めての試みでした。職種の役割を知ることで連携しやすくなれば、という想いでこの職種特集を組んでいます。取材当日は、ケアマネさんだからこそその視点でインタビューを進めて頂きましたが、果たして取材した私がその意味を正確に汲めているのかどうか・・・。ちょっと心配です。（熊谷）

